

## SSKA

全国パーキンソン病友の会会報  
宮城県支部だより No. 109 付録

全国パーキンソン病友の会 宮城県支部  
〒981-0922 仙台市青葉区鷺ヶ森1-10-7  
渡辺 弘方 ☎022-271-5371

### ◆ 目次 ◆

- 1 仙台西多賀病院 院長 **武田 篤先生** 医療講演会 Q&A
- 3 中山地区お茶飲み交流会 第1回(9月19日) & 第2回(10月22日)
- 18 新入会員紹介: 鈴木 ゆり子/佐藤 充
  
- 21 海外事情/医療講演会のお知らせ 12月22日 (於 仙台国際センター)
- 22 東北・北海道ブロック交流会 in 八戸に参加して...大場 恵美子
- 23 医療講演会 in 気仙沼/寄付御礼/年忘れカラオケ大会のご案内



埼玉県鳥シラコバト



宮城県花ミヤギノハギ

#### 質問 1

#### オフ対策について

病歴 11年 65歳 男性

- ・H19年頃より左上肢の動かしにくさ、左足の歩幅の減少を自覚。左足が次第に引っかかるようになる。
- ・H25年末 MIBG 心筋シンチグラフィの結果パーキンソン病と診断されました。
- ・H29年9月難病認定されました。
- ・H29年6月よりデイサービス週2回、通所リハビリ3時間を週2回。リハビリ効果により、歩行は杖を使用して可能。進行度が幾分遅くなっている。
- ・最近、オンオフがはっきりしてきました。具体策を教えてください。

**武田先生:** オフに対する治療法ということで、これはまさしく今度出るガイドラインにも書いてある内容になりますが、いろいろな薬を使っていく。あるいは薬で充分に効果が出ない場合は手術治療を含めて検討するということになります。さしあたっていくつかの補助薬、L-ドパ以外の薬を使ったり、L-ドパそのものを3回飲んでいたら4回に分けたり、5回に分けたり、多いと7回、8回と1日3時間おきに飲まれる方法もあり、回数を増やしていくことで対処していくことになるかと思えます。さらに長く効くレボドパがこれから出てきますので、そういうものも使えるのかなと思えます。